

「PFOS、PFOA に関する Q&A 集」及び 「PFAS に関する今後の対応の方向性」について



環境省が設置した「PFAS に対する総合戦略検討専門家会議」(以下「専門家会議」という。)の監修の下で「PFOS、PFOA に関する Q&A 集」を作成するとともに、専門家会議において、PFAS に関して現時点で取り組むべき事項が「PFAS に関する今後の対応の方向性」として取りまとめられました。

1. 「PFOS、PFOA に関する Q&A 集」について

環境省や都道府県等が実施した調査において、河川・地下水等の水環境で PFOS、PFOA の暫定目標値(50 ng/L)を超過する事例が確認されています。PFOS、PFOA について、住民の不安に寄り添い透明性を確保しながら適切な情報発信を行うために「PFOS、PFOA に関する Q&A 集」が作成されました。

2. 「PFAS に関する今後の対応の方向性」について

国内において PFOS、PFOA に関する不安や、目標値や基準値の検討等の対策を求める声が上がっています。さらに、PFOS、PFOA 以外の PFAS についても、各国・各機関において議論されています。こうした状況を受けて、専門家会議において、国内外の最新の科学的知見及び国内での検出状況の収集・評価を行い、「PFAS に関する今後の対応の方向性」として取りまとめられました。

当社では、水や製品中の PFAS 分析に対応しております。お気軽にお問合せ下さい。

[資料 2023 年 7 月 31 日付 環境省報道発表資料](#)

有機分析箇所 佐藤亮平